

事務事業名		緊急宿泊支援事業		会計	一般会計	実施区分			
H28担当課等名		長寿支援課		事業種別	政策	開始	18	終了	
H28係等名		長寿支援係		H27係等名		長寿支援係			
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり					
		施策	35	高齢者福祉の推進					
目的	対象(誰・何を)	高齢者等の介護者で緊急事由により介護することが困難となる世帯			対象指標	指標名及び単位		27年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	障害者や高齢者等が馴染みの環境で、身近な施設で緊急の短期入所を受け入れてもらうことにより利用者自身や家族の不安を解消させる				介護保険要支援・要介護認定者数		6075	
	向上させたい上位施策の成果指標	安心して暮らせている高齢者の割合							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	利用登録者数			100	87	100	-	
	定性目標								
事業概要	宅老所(通所介護施設)等を利用している障害者・高齢者が、家族の都合等で緊急に宿泊預かりが必要になり、馴染みの環境で緊急宿泊利用した場合、利用料の一部を年間4回まで請求のあった介護者の方に助成する。								
27年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	家族の都合により介護が困難となり、障害者、高齢者等が日々利用している宅老所等で緊急に宿泊した場合、利用料の一部を年4回まで助成				利用者実数 利用回数		12人 23回		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		160	240	92	240	(県)緊急宿泊支援事業補助金(1/2)			
国庫支出金									
県支出金		80	120	46	120				
起債									
その他									
一般財源		80	120	46	120				
人件費計(千円)②		179		0					
正規職員所要時間		50							
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		339	240	92	240				
事業内容・目標達成状況の振り返り	在宅介護者の経済的、精神的負担を軽減する必要がある。今後とも利用率向上を図る必要がある。								
改革改善の考え方	①問題点	必要な方がサービス提供を受けられているのか。							
	②改革提案	年1回他の在宅福祉サービスとともに対象者に案内を送付する。事業者連絡会時、事業所に事業目的等の周知を行う。緊急宿泊が必要な方が利用でき、助成を受けられるようにしていく。							